

# 画像所見のまとめ

- 皮下脂肪組織内に限局した軟部腫瘍で急速に増大  
→悪性腫瘍の可能性を示唆
- 内部に出血を伴う多血性腫瘍、一部 flow voidを疑う構造

診断

Ewing sarcoma(骨外性)

# 骨外性Ewing sarcoma

- 非常に稀、骨原発Ewing sarcomaの15 – 20%
- 好発年齢は骨原発より高く、性差はない。
- 急速増大する孤発性腫瘍
- 大きめ：5 – 10cm ← 皮下病変に限定すると、中央値は3.2cmと小さい
- 症状は発生部位によって多様、疼痛や圧痛が約半数
- 深在性(92%) >> 皮下領域 (8%)
- 好発部位：傍椎体領域(32%)、下肢(26%)、胸壁(18%)、後腹膜・骨盤(11%)

Radiographics 2022; 42: 1145-1160 Wright et al

Japanese Journal of Clinical Oncology, 2023; 53(7):604-610 Aiba et al

# 骨外性Ewing sarcomaの画像所見

## 【MRI】

- 非特異的不均一な信号
- 出血や壊死を反映した信号変化
- 液面形成、偽被膜
- 蛇行した脈管構造 ( serpentine high-flow vascular channels )
- DW/ADCは有用ではない

## 【CT】

- 非特異的な軟部腫瘍で筋実質と同程度の濃度 (87%)
- 出血や壊死を反映した低濃度領域
- 境界不明瞭 (60%)
- 石灰化 (25-30%)
- 骨に接した病変では骨膜反応など骨浸潤所見 (40%)
- 造影CTでは不均一な造影効果

## 鑑別疾患

- hemangioendothelioma
- hemangiopericytoma
- Angiosarcoma
- Rhabdomyosarcoma
- synovial sarcoma
- alveolar soft-part sarcoma

確定診断となる特異的な所見はないが、  
鑑別診断として考慮することは重要